

いよいよ台風シーズン、今年は9月1日が「二百十日」です。

「二百十日」とは天気予報や台風情報がなかった昔、立春から数えて210日目にあたる日は、大風の吹いたりする荒れる日だから心しておけよという防災の意味で暦につけられるようになった日です。

しかし、ここ十数年来、私たち富士市民は、幸いにも台風の直接的な被害を受けていないので、ちょっと台風のことを忘れがちになっていないでしょうか。防災に油断は禁物です。

過去に台風による大きな被害を受けたことをおもいおこし、ここで、もう一度心構えを新たにしておきましょう。

天災は忘れたころにやってくる

これから台風シーズン

台風の正体

台風はフィリピンの西側の太平洋で生れた熱帯低気圧で、最大風速が秒速17m以上になったものです。

どうしてできるのかは、まだ明らかではありませんが、どうやら北半球の北東貿易風と南半球の南東貿易風の衝突によるものではないかとみられています。

台風は毎年30個ぐらいが発生し、左回りの大きな空気の渦を巻きながら北上し、このうち4個ぐらいが日本列島に上陸しています。

台風情報をよく聞こう

台風の大きさや強さは気象衛星や飛行機、レーダーによって正確にわかり、進路もだいたい予想することができます。

台風が近づいた時の心構えの第一歩は、私たちがテレビやラジオ、新聞などで知らされる台風情報を正しく理解し、十分知っておくことです。

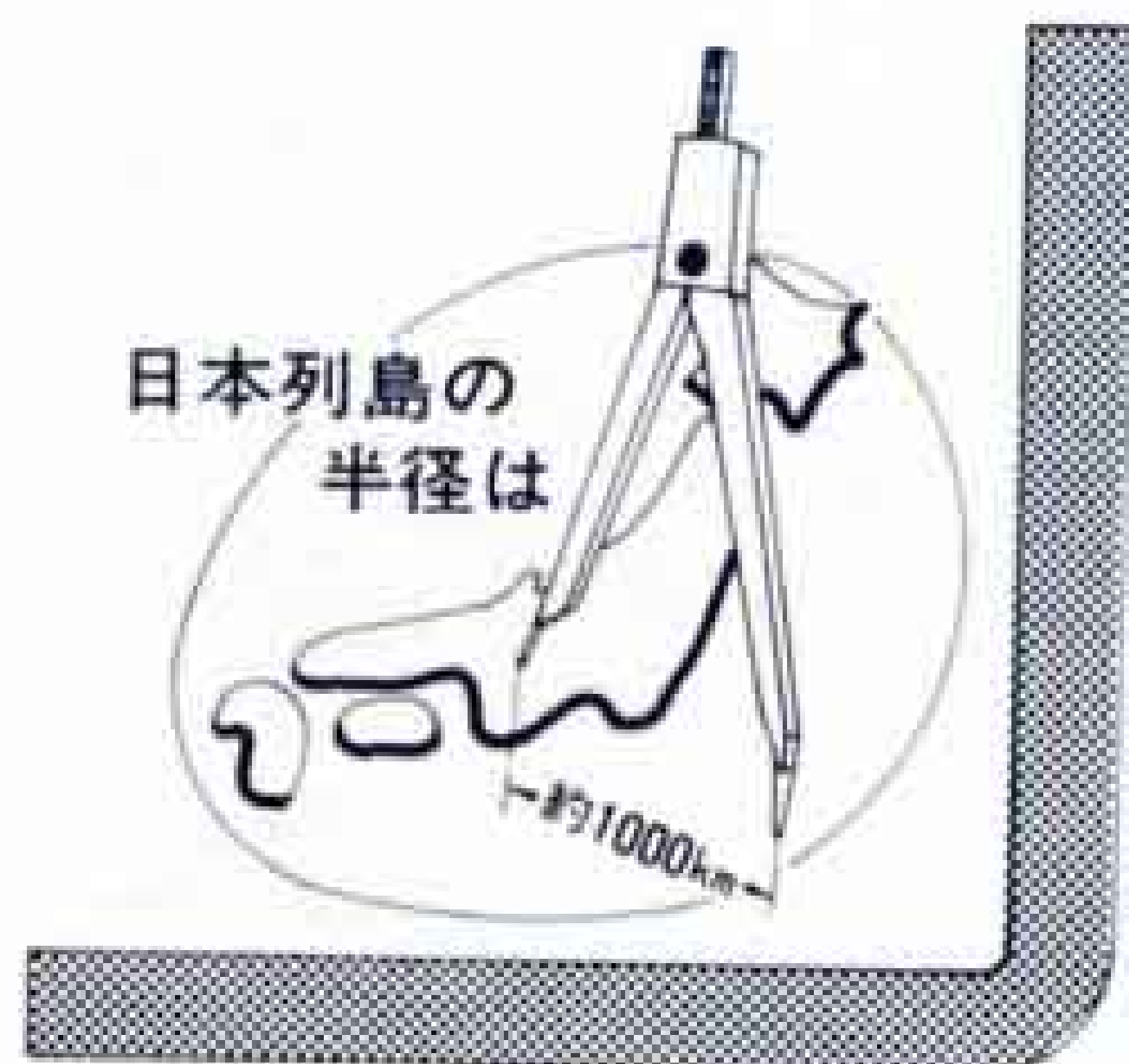
台風の大きさと強さ

台風は「大型の強い台風」、「非常に強い中型台風」のように、大きさと強さを組み合わせて表わされます。

・**大きさの目安として** 風速25m以上の区域が中型では半径200kmぐらい、大型が300kmぐらい、400km以上になると非常に大きな台風といわれます。

・**強さの目安として** 最大風速が毎秒25~34mなら並、35~44mなら強い、45~54mは非常に強い、55m以上なら猛烈に強い台風といわれます。

風速は10分間の平均秒速で表わされます。瞬間風速というものがありますが、この値は平均風速のおよそ1.3~1.5倍になります。



(2)



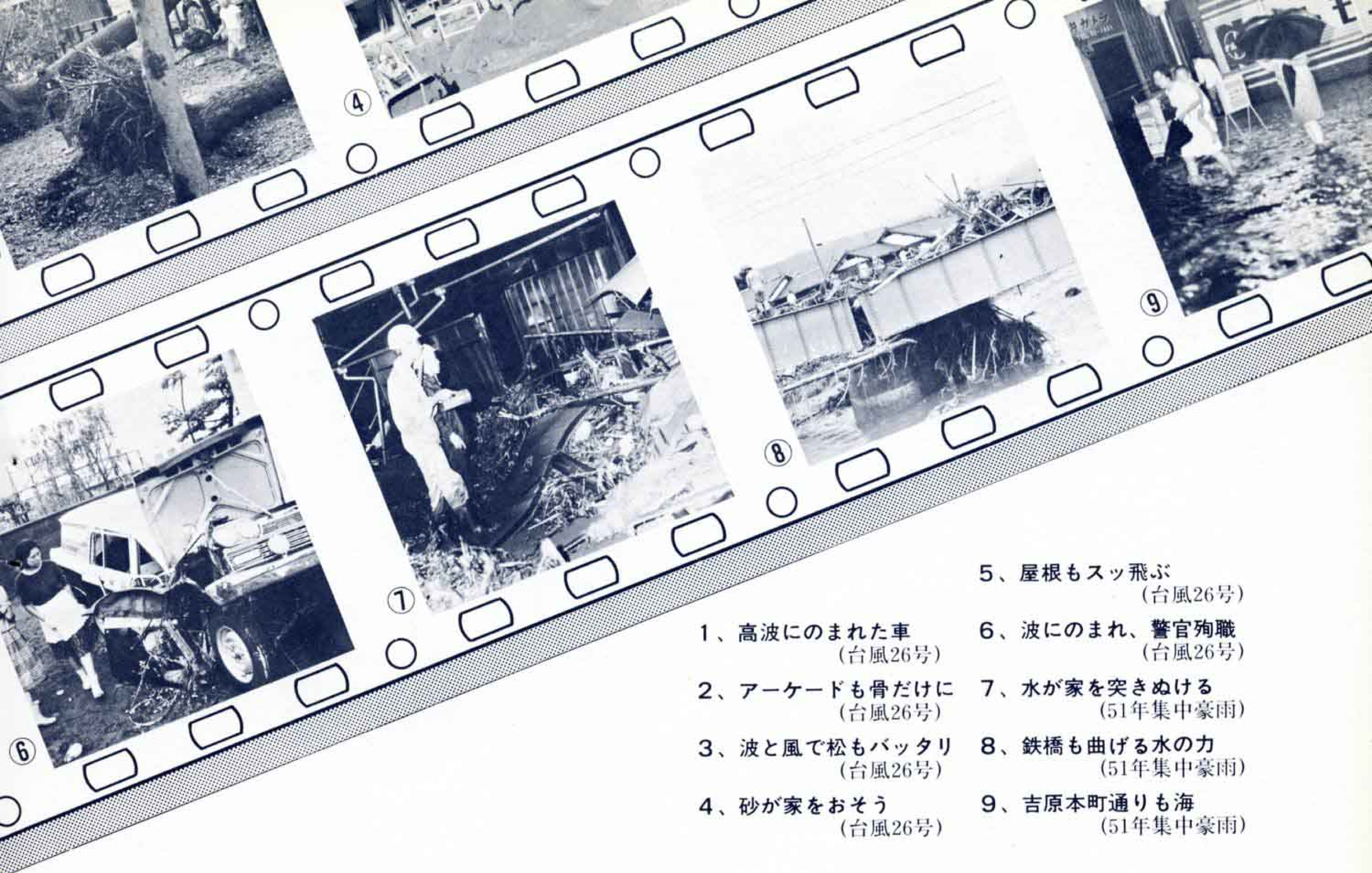
風速による破壊力のちがい

- ・10m~雨傘がこわれる。
- ・20m~看板やトタンが飛ぶ。
- ・30m~かわらが飛んだり、雨戸がはがれたりする。
老朽化した家は倒れる。
- ・40m~小石が飛び、電車(客車)が倒れる。
- ・50m~ほとんどの木造家屋が倒れ、樹木は根こそぎとなる。

台風の風に備えて

家の窓、雨戸を閉め、スジカイなどで外から補強し、ガラス戸には保護板をあててください。家の中に風が入ると屋根が飛んでなくなりますよ。

それから看板やテレビアンテナの補強、風で折れたり、電線に触れるおそれのある木の枝は切り落しておきましょう。



大雨に注意

台風では雨による大きな被害も出ます。1時間に30㎜以上降ると、低地での浸水や、小さな河川の増水など被害が目立ちはじめます。

ザアザアと降り、道路に水が流れるような雨は、だいたい30㎜あります。

昭和51年9月に富士市を襲った集中豪雨は、時間降雨量が90㎜ありま

した。90㎜とはタタミ2枚の広さにドラム缶2本分の雨が降ったことになります。

大雨注意報は時間あたり20㎜以上総雨量で約50㎜の雨が降った時、さらに大雨警報は40㎜以上、総雨量が約90㎜になった時、発令されます。大雨警報がでたら、がけ崩れのおそれのある所や増水した河川の近くの人々は、一刻も早く逃避しましょう。

5、屋根もスッ飛ぶ
(台風26号)

1、高波にのまれた車
(台風26号)

6、波にのまれ、警官殉職
(台風26号)

2、アーケードも骨だけに
(台風26号)

7、水が家を突きぬける
(51年集中豪雨)

3、波と風で松もバッタリ
(台風26号)

8、鉄橋も曲げる水の力
(51年集中豪雨)

4、砂が家をおそう
(台風26号)

9、吉原本町通りも海
(51年集中豪雨)

*台風に備えての懐中電灯、トランジスターラジオの点検は、お済みですか。

作動しますか。長い間、電池を入れっぱなしではないですか。

電池を長い間、器具に入れておくと、自然放電して使えなくなったり液漏れをおこし器具を痛めます。

電池は器具から抜き取って、ビニール袋に入れ保管しておきましょう。

九月二日(日)は防災訓練



自分を守るために自分の体で覚えよう

「グラグラ」大地震です。ほとんどの人は頭でわかっているても冷静な行動をとるのは難しいものです。

この時、一刻も早く冷静な行動に移れるようにするのが防災訓練です。

防災訓練の原点は、自分が、自分を守るための行動を、自分の体で覚えることなのです。

今回の防災訓練は東海大地震に備えて、自主防災会を中心に消火・救護活動などが行われます。

9月2日(日)、午前7時のサイレン、これが「警戒宣言発令」、そして7時45分のサイレンが「大地震発生」このサイレンで行動開始です。

なお、大雨の場合は9月9日(日)に順延されます。